

足立区の景況

これは、令和 7 年 6 月上旬～7 月中旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先 3 ヶ月間（令和 7 年 7 月～9 月）の予想をまとめたものです。

調査対象	製造業 127 社	小売業 67 社
	建設業 69 社	サービス業 53 社
	運輸業 40 社	
調査方法	面接聴取、郵送アンケート（運輸業）	
調査機関	一般社団法人 東京都信用金庫協会	
分析・作成	株式会社 東京商工リサーチ	

	 A	 B	 C	 D	 E	 F	 G
	好調 ←			普通	→ 不調		
製造業	20 以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31 以下
小売業	10 以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41 以下
建設業	20 以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31 以下
サービス業	15 以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36 以下
運輸業	15 以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36 以下

製造業

<前期>

D

→

<今期>

E

...

<来期>

D

業況は 2 ポイント減の-12 と低調感がやや強まった。
売上額は 7 ポイント減の-6 と増加から減少に転じ、収益は増減なく-7 と前期同様の減少幅で推移した。
価格動向は、販売価格は増減なく 23 と前期並の上昇が続き、原材料価格は 4 ポイント増の 52 と上昇が多少強まった。
原材料在庫は 2 ポイント減の-3 と適正水準から不足となった。

小売業

<前期>

E

→

<今期>

E

...

<来期>

E

業況は 4 ポイント減の-25 と低調感がやや強まった。
売上額は 5 ポイント減の-11、収益は 4 ポイント減の-24 とともに減少・減益幅が幾分拡大した。
価格動向は、販売価格は 2 ポイント減の 29、仕入価格は 4 ポイント減の 45 とともに上昇が若干弱まり、在庫は 3 ポイント減の 0 と過剰から適正水準となった。

建設業

<前期>

B

→

<今期>

B

...

<来期>

B

業況は増減なく 14 と前期並の良好感が続いた。
売上額は 17 ポイント減の 10、収益は 8 ポイント減の 0 とともに増加幅が大きく縮小した。
価格動向は、請負価格は 19 ポイント減の 17 と上昇が大幅に弱まり、材料価格は 3 ポイント減の 43 と上昇幅がやや縮小した。在庫は 2 ポイント減の-2 と適性水準に保たれた。

サービス業

<前期>

D

→

<今期>

C

...

<来期>

C

業況は 4 ポイント増の-4 と厳しさがやや和らいだ。
売上額は 7 ポイント増の 7 と増加幅が大きく拡大し、収益は 10 ポイント増の 4 と増加に転じた。
価格動向は、料金価格は 1 ポイント減の 10 と前期並の上昇が続き、材料価格は 3 ポイント減の 32 と上昇が多少弱まった。

運輸業

<前期>

E

→

<今期>

D

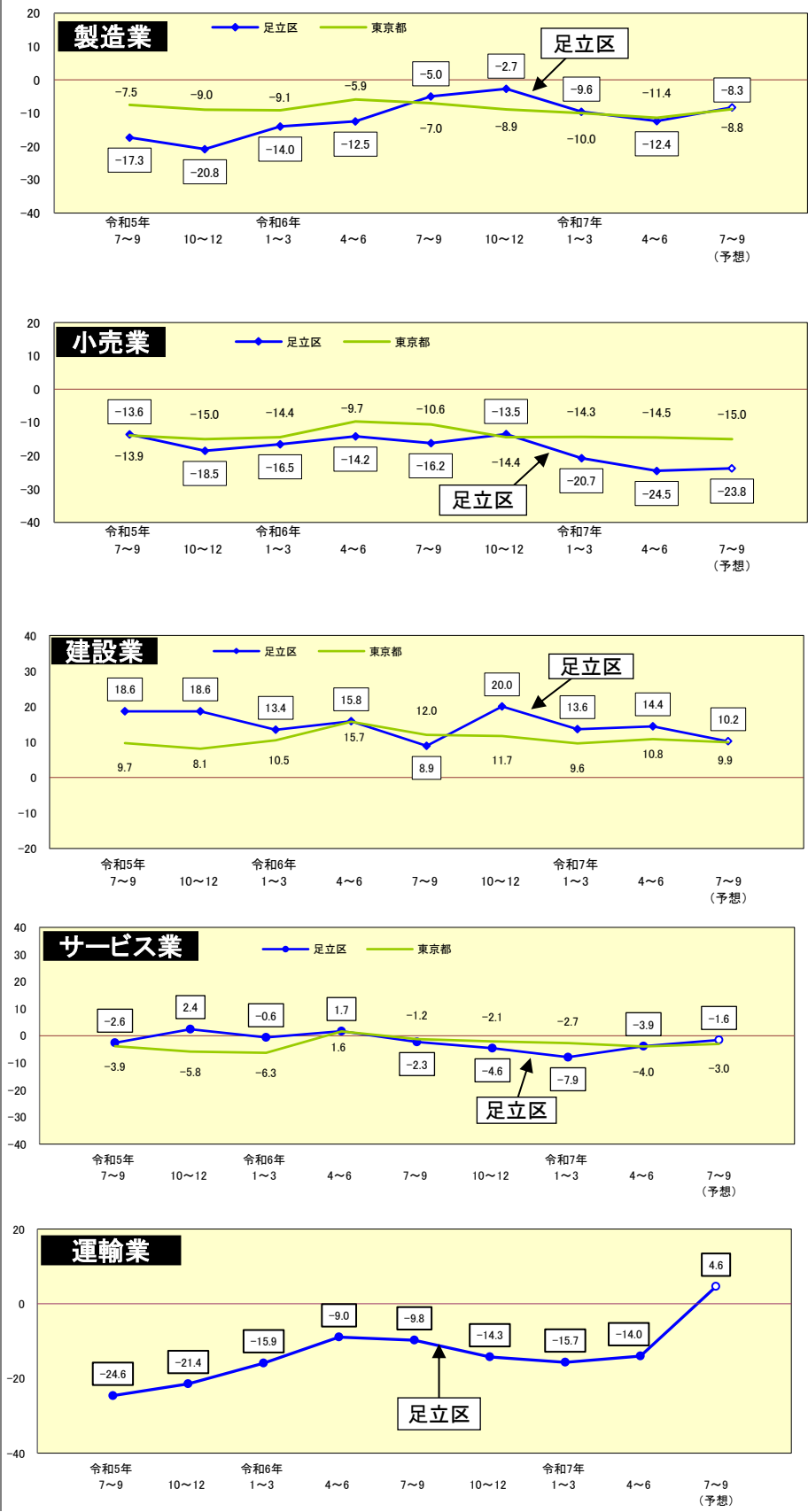
...

<来期>

B

業況は 2 ポイント増の-14 と厳しさがやや和らいだ。
売上額は 9 ポイント増の 2 と増加に転じ、収益は 12 ポイント増の-2 と減益幅が大きく縮小した。
価格動向は、サービス提供価格は 10 ポイント増の 10 と上昇が大幅に強まり、仕入価格は 10 ポイント減の 45 と上昇幅がかなり縮小した。

足立区と全都の業況の動き(実績)と来期の予測



足立区 業種別 経営上の問題点

	製造業		小売業		建設業		サービス業		運輸業	
第1位	原材料高	42.5 %	同業者間の競争の激化	28.4 %	材料価格の上昇	62.3 %	同業者間の競争の激化	35.8 %	人手不足	55.0 %
第2位	売上の停滞・減少	26.8 %	売上の停滞・減少	25.4 %	人手不足	34.8 %	人件費の増加	26.4 %	仕入価格の上昇 車両の老朽化	40.0 %
第3位	同業者間の競争の激化	19.7 %	大型店との競争の激化 仕入先からの値上げ要請	19.4 %	同業者間の競争の激化	26.1 %	人手不足	24.5 %	人件費の増加	35.0 %
第4位	人手不足	18.9 %	利幅の縮小 人件費の増加	16.4 %	売上の停滞・減少	18.8 %	材料価格の上昇	17.0 %	人件費以外の経費の増加	30.0 %
第5位	利幅の縮小 仕入先からの値上げ要請	18.1 %	人手不足	11.9 %	利幅の縮小	17.4 %	売上の停滞・減少	15.1 %	売上の停滞・減少	25.0 %

足立区 業種別 重点経営施策

	製造業		小売業		建設業		サービス業		運輸業	
第1位	販路を広げる 経費を節減する	51.2 %	経費を節減する	58.2 %	人材を確保する	46.4 %	経費を節減する	45.3 %	人材を確保する	57.1 %
第2位	人材を確保する	19.7 %	宣伝・広告を強化する	40.3 %	経費を節減する	42.0 %	販路を広げる	39.6 %	車両を新規導入・修繕する	42.9 %
第3位	新製品・技術を開発する	15.0 %	品揃えを改善する	29.9 %	販路を広げる	40.6 %	人材を確保する	32.1 %	経費を節減する	28.6 %
第4位	情報力を強化する	11.0 %	売れ筋商品を取り扱う	11.9 %	情報力を強化する	27.5 %	宣伝・広告を強化する	22.6 %	販路を広げる 労働条件を改善する	23.8 %
第5位	機械化を推進する	8.7 %	人材を確保する	10.4 %	技術力を高める	17.4 %	技術力を強化する 教育訓練を強化する 労働条件を改善する	7.5 %	技術力を強化する 教育訓練を強化する	9.5 %

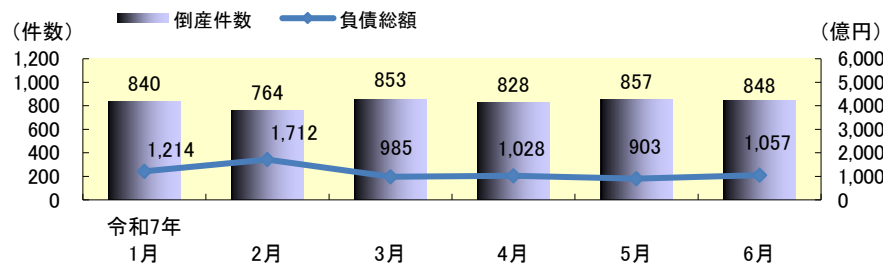
注）サービス業は平成 22 年 1～3 月期からデータの継続性を重視するため、一般社団法人東京都信用金庫協会が調査したデータを使用しています。
※運輸業の DI 値について 令和 6 年度より、令和 4 年度以降の運輸業の DI 値として修正値を参照しています。
※来期予測について 今後の見通しについては、社会情勢等の影響により実態と差異が生じる可能性があります。

全国、東京都、足立区の企業倒産動向（令和7年4～6月期）

【(株)東京商エリサーチ調べ】

1.全国の倒産動向

(1)概況:直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



全国の倒産動向は、今期（令和7年4～6月）は件数では2,533件と前期（令和7年1～3月）より76件増加し、負債総額では2,988億円と923億円減少した。

(2)大型倒産

- ① (株) 君津ロックウール/千葉県/ロックウール製造販売/8,750百万円/特別清算
- ② (株) ロイヤル/愛知県/スポーツ・カジュアル靴・雑貨類販売 /8,330百万円/民事再生法
- ③La Plume Niseko Resort 特定目的会社/東京都/リゾート開発/ 6,000百万円/破産

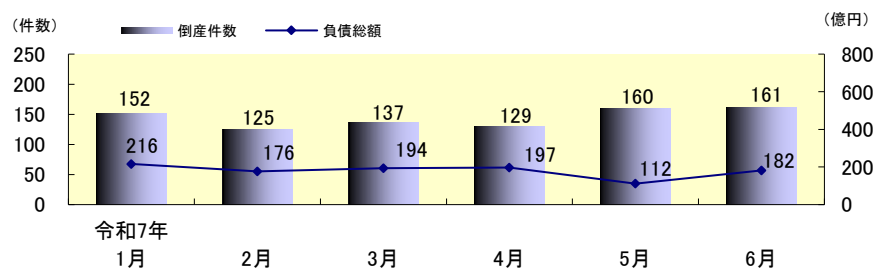
2. 東京都の倒産動向

(1)概況

	前年同期 令和6年 4～6月	前期 令和7年 1～3月	今期 令和7年 4～6月	前期比 (増加率)	前年同期比 (増加率)
件数	485	414	450	8.7%	-7.2%
負債総額(億円)	777	586	491	-16.2%	-36.8%

※負債総額について、「億円」単位以下を四捨五入しているため、表とグラフで誤差がございます。

(2)直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



東京都の企業倒産は、450件（前期比8.7%増）と前期から増加した。
業種別にみると、製造業、小売業、サービス業、建設業で倒産件数が増加している。
負債総額は491億円（同16.2%減）と減少し、業種別にみると、卸売業が最多であった。

(3)原因別の倒産動向

	前年同期 令和6年4～6月		前期 令和7年1～3月		今期 令和7年4～6月			
	件数	負債総額(億円)	件数	負債総額(億円)	件数	負債総額(億円)	件数前月比(増加率)	件数前年同期比(増加率)
放漫経営	53	108	45	59	30	78	-33.3%	-43.4%
過小資本	3	1	2	3	2	3	0.0%	-33.3%
他社倒産の余波	36	47	37	58	30	47	-18.9%	-16.7%
既往のシワ寄せ	54	223	48	74	43	76	-10.4%	-20.4%
販売不振	324	348	261	367	327	266	25.3%	0.9%
売掛金等回収難	2	14	3	12	3	4	0.0%	50.0%
信用性低下	2	9	4	1	5	4	25.0%	150.0%
在庫状態悪化	0	0	0	0	1	0	-	-
設備投資過大	1	0	1	1	0	0	-100.0%	-100.0%
その他	10	23	13	8	9	9	-30.8%	-10.0%
合計	485	777	414	586	450	491	8.7%	-7.2%

(4)業種別の倒産動向

	前年同期 令和6年4～6月		前期 令和7年1～3月		今期 令和7年4～6月			
	件数	負債総額(億円)	件数	負債総額(億円)	件数	負債総額(億円)	件数前月比(増加率)	件数前年同期比(増加率)
製造業	22	73	19	104	34	54	78.9%	54.5%
卸売業	94	99	66	142	64	159	-3.0%	-31.9%
小売業	43	115	32	21	36	22	12.5%	-16.3%
サービス業	118	126	90	116	122	66	35.6%	3.4%
建設業	54	60	45	45	56	38	24.4%	3.7%
不動産業	19	28	22	30	22	72	0.0%	15.8%
情報通信業・運輸業	71	101	71	49	58	27	-18.3%	-18.3%
宿泊業・飲食サービス業	37	43	44	21	36	13	-18.2%	-2.7%
その他	27	129	25	55	22	36	-12.0%	-18.5%
合計	485	777	414	586	450	491	8.7%	-7.2%

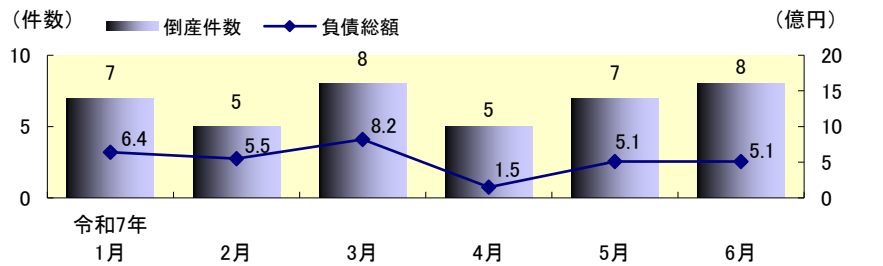
3.足立区の倒産動向

(1)概況

	前年同期 令和6年 4～6月	前期 令和7年 1～3月	今期 令和7年 4～6月	前期比 (増加率)	前年同期比 (増加率)
件数	16	20	20	0.0%	25.0%
負債総額(百万円)	2,381	2,020	1,189	-41.1%	-50.1%

※負債総額について、表は「百万円」単位、グラフは「億円」単位以下を四捨五入しているため、合算値に誤差がございます。

(2)直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



足立区の倒産動向は、件数は20件と前期同様となった。
負債総額は11億8,900万円と前期比約8億3,100万円減少した。
業種別にみると、サービス業と建設業で5件ずつ、卸売業で3件、製造業と情報通信業・運輸業で2件ずつ、不動産業、宿泊業、飲食サービス業、その他の業種で1件ずつ倒産しており、最多負債総額は建設業の6億4,400万円であった。

(3)原因別の倒産動向

	前年同期 令和6年4～6月		前期 令和7年1～3月		今期 令和7年4～6月			
	件数	負債総額(百万円)	件数	負債総額(百万円)	件数	負債総額(百万円)	件数前月比(増加率)	件数前年同期比(増加率)
放漫経営	1	10	3	148	2	168	-33.3%	100.0%
過小資本	0	0	2	350	1	200	-50.0%	-
他社倒産の余波	1	600	1	56	0	0	-100.0%	-100.0%
既往のシワ寄せ	6	1,484	3	572	1	20	-66.7%	-83.3%
販売不振	7	255	11	894	15	711	36.4%	114.3%
売掛金等回収難	0	0	0	0	1	90	-	-
信用性低下	0	0	0	0	0	0	-	-
在庫状態悪化	0	0	0	0	0	0	-	-
設備投資過大	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	1	32	0	0	0	0	-	-100.0%
合計	16	2,381	20	2,020	20	1,189	0.0%	25.0%

(4)業種別の倒産動向

	前年同期 令和6年4～6月		前期 令和7年1～3月		今期 令和7年4～6月			
	件数	負債総額(百万円)	件数	負債総額(百万円)	件数	負債総額(百万円)	件数前月比(増加率)	件数前年同期比(増加率)
製造業	1	1,204	1	10	2	53	100.0%	100.0%
卸売業	3	71	4	420	3	188	-25.0%	0.0%
小売業	3	640	1	35	0	0	-100.0%	-100.0%
サービス業	1	10	1	20	5	131	400.0%	400.0%
建設業	4	342	6	293	5	644	-16.7%	25.0%
不動産業	1	30	0	0	1	10	-	0.0%
情報通信業・運輸業	2	40	6	1,229	2	60	-66.7%	0.0%
宿泊業・飲食サービス業	0	0	0	0	1	63	-	-
その他	1	44	1	13	1	40	0.0%	0.0%
合計	16	2,381	20	2,020	20	1,189	0.0%	25.0%

発行日:令和7年9月 発行:足立区
編集:足立区 産業経済部 産業政策課
住所:東京都足立区中央本町 1-17-1 TEL:03-3880-5182(直通)